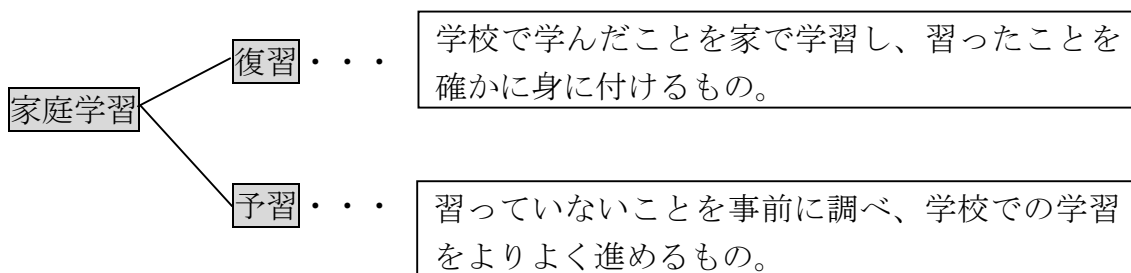


家庭学習について

① 家庭学習とは



※この家庭学習を実りあるものにし、子どもに習慣付けていくためには、家庭と学校が手を取り合って実践することが大切になります。

② 家庭学習の必要性

〔学力向上の面から〕
学習したことを確実に身に付けるには、その日の内に、家庭でも復習すると効果が上がります。より速く、正確に計算したり、より正しく文字を書いたりする力は、一朝一夕には育ちません。ですから、毎日授業の復習を家庭で継続していくことが大切なのです。



〔社会的な背景から〕
よりよい生活習慣や学習習慣をしっかりと身に付けることが、自立への基礎を培うことにつながっていきます。
家庭学習では、自分が向上することの嬉しさや、人から認められることの喜び、また、それらを支えるやる気を身に付けることができます。

③ 家庭学習を進めるときに気を付けること

- 毎日一定時間、決まった場所で学習に取り組むようにさせる。
- 子どもが集中力を高めて家庭学習ができるように、テレビを消したり、机の上を片付けさせたりする。
- 保護者が、学習の様子を見届ける。
- ある部分では、子どもと共に行う。

④ 家庭学習を効果的に進めるために

(1) 家庭学習の内容と時間の目安

家庭学習の時間は、あくまでも標準であり個人差を考慮する必要もありますが、本校の家庭学習の時間・内容は、学年に応じて次のように設定しています。

1年生…約20分…ひらがなプリント・漢字プリント・音読・日記

計算プリント・計算練習など

2年生…約20分…漢字・音読・日記・計算など

3年生…約30分…漢字・音読・計算・日記・(+ α として自学)

4年生…約30分…漢字・日記・バラプリント・自学ノート

5年生…最低30分…漢字・音読・日記・計算・自学ノート

6年生…最低30分…漢字・音読・日記・作文・ことばのきまり

漢字スキル・計算スキル・プリント・自学ノート

基本的には、担任が毎日の授業の復習のために、漢字や計算のドリル学習を与えますが、慣れてくると、子ども自身が必要な学習内容を選んで取り組む学習（自学）をプラス α として奨励します。継続は力なりです。毎日の継続が子どもたちの力になることと思います。

(2) 家庭学習の時間確保

家庭学習の習慣化は、生活習慣の確立から始まります。「早寝・早起き・朝御飯」のリズムを身に付けることが大切です。そのことが家庭学習を定着させることにつながります。そのためには、学校から帰ってからの時間の使い方が大切です。朝起きる時間を決め、そこから眠る時間を逆算して就寝時刻が決まります。帰宅時刻から寝る時間までの間に必ず家庭学習の時間を設定することが大切です。お子さんと話し合っ、時間を設定してください。

(3) 子どもへの声かけ

家庭学習において、子どもへの声かけは大変重要です。子どもがやる気になる「3H(ほめる, はげます, ひろげる・ふかめる)」の声かけを紹介します。

- ほめる・・・「こんなにきれいにかけるんだね。すごいね。」
- はげます・・・「まだ速く計算できないけれど、毎日続ければ必ず速くなるよ。」
- ひろげる・ふかめる・・・「この頃、漢字の間違いがなくなってきたね。この調子でね。」

参考：確かな学力が身に付く学習のしつけ（小学館）鹿児島県鹿児島市立田上小学校著